

新庁舎整備
基本計画

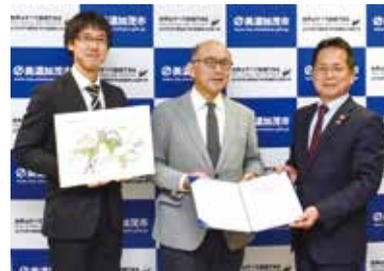
かわらばん vol.7

まちづくり委員会の最終答申を受け、市として政策決定を行い、市民や議会のみなさんに理解が得られるよう進めていきます。

未来のまちづくり委員会 最終答申

新庁舎整備基本計画の策定に向けて

美濃加茂市未来のまちづくり委員会（会長：海道清信名城大学教授）は、市長からの諮問に基づき、平成30年8月より令和元年11月の間に計10回の委員会を開催し、新庁舎整備基本計画について審議してきました。委員会は、新庁舎の整備地について「美濃太田駅周辺」を選定して平成31年2月に市長へ中間答申を行った後も新庁舎の機能や規模などについて引き続き審議を進め、令和元年12月24日に市長へ最終答申を手渡しました。



伊藤市長（右）へ最終答申を手渡す海道会長（中央）と渡邊副会長（左）

最終答申のポイント

委員会では、新庁舎整備事業は庁舎という建物を建てるだけでなく、周辺地域との相乗効果によってにぎわいを創出する“まちづくり”と考え、基本計画の検討にあたり、新庁舎整備基本構想にある、新しい市役所をいかしたまちづくりの理念「現代版太田宿」に思いをはせながら、常にまちづくりの視点から議論を重ねてきました。そこで、基本構想の実現をめざした基本的な計画に必要な事項が答申されました。

事項

- 1 新庁舎の機能
- 2 新庁舎の規模
- 3 新庁舎の整備方針
- 4 まちづくりと計画地
- 5 施設計画
- 6 事業手法
- 7 新庁舎からはじまる新しいまちづくり

付帯意見

委員会では8～9月に市内各地区で開催された「新しい市役所をいかしたまちづくりについて市長と語る会」の意見交換の結果も確認され、付帯意見が付けられました。

- 想定される災害に対して万全の対策を行うこと
- 来庁者にとって利用しやすい駐車場を整備すること
- 最適な事業手法を選択すること
- 民間事業者との連携を深化させること
- 市民と共にエリアマネジメントを推進すること



海道会長

市や地域、市民にとって最も望ましい庁舎のあり方、活用の仕方について委員会で考えました



渡邊副会長

市民の意見を大切にして進めていけば、良い庁舎・まちづくりに繋がっていくと思います。



伊藤市長

市民の同意を得ながら整備を進めてきたいです

新庁舎整備基本計画の策定に向けて

- 市は、未来のまちづくり委員会の答申を受け、美濃加茂市新庁舎整備基本計画の策定を進めていきます。
- 令和2年度に市民説明会を開催いたします。
- 未来のまちづくり委員会の答申内容は、市ホームページでご覧いただけます。また、市役所本館1階ロビーまたは2階企画課でも閲覧できます。

最新情報はこちら

<http://www.city.minokamo.gifu.jp/2050>
